

修士の学位申請に関する手続き及び審査体制・基準等について

1 修士の学位

修士課程または博士課程前期課程に所定の期間在学し、当該研究科所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたのち、当該課程の目的に応じ、修士論文または特定の課題についての研究の成果の審査及び試験に合格した者は、その課程を修了した者とされ、修士の学位が授与されます（大学院学則第24条、第26条）。

2 修士論文審査体制・方法

（1）審査体制

修士論文の審査は、研究科委員会の定める審査委員によって行います。

審査委員は、当該修士論文に関連ある研究領域の教員3名以上とし、主査を1名、副査を2名以上とします。

ただし、特別の事情がある場合には副査を1名とすることがあります。

（2）審査方法

① 最終試験

修士の学位に関する最終試験は、修士論文の提出者の研究成果を確認する目的をもって、審査委員が修士論文を中心とし、試問の方法によって行います。試問は、口頭によりますが、筆答試問を併せ行うことがあります。

② 審査期間

修士論文の審査及び最終試験は、当該修士論文の提出期限後3カ月以内に終了します。

③ 審査結果

修士論文の審査及び最終試験の結果は、研究科委員会の承認を得て決定します。

3 修士論文審査基準

修士論文の審査にあたっては、以下の審査項目をふまえて、総合的に評価します。なお、各専修において、分野の専門性に応じて独自の観点を加えられることがあります。

（1）研究テーマの選択が適切であり、研究目的が明確であること。

（2）研究テーマにそって、先行研究を十分に踏まえていること。

（3）研究テーマにそって、研究の方法が適切であること。

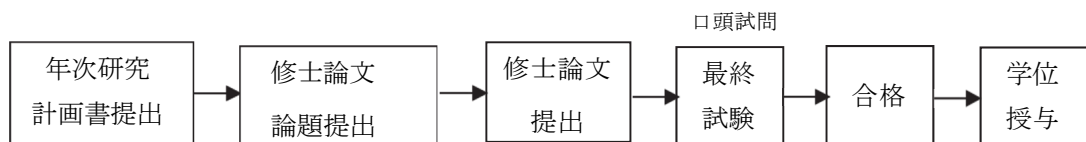
（4）研究資料やデータの収集、処理が的確であること。

（5）研究資料やデータの分析、解釈が適切であること。

（6）記述にあたって、論理に破綻なく、叙述が一貫していること。

（7）新しい発見があり、新たな知見がえられていること。

4 学位授与までの流れ（2年次）



5 スケジュール（2年次）

詳細な日程は、別紙「提出要領」を参照してください。

事項	期 限（期 日）	
	3月期学位授与	9月期学位授与
年次研究計画書の提出	4月下旬	10月下旬
修士論文計画書の提出	10月中旬	4月中旬～下旬
修士論文の提出	1月中旬	7月中旬～下旬
最終試験	2月中旬	7月下旬～9月上旬

6 修士論文提出要件

修士論文は、学位規程第9条に基づき、修士課程または博士課程前期課程に1年以上在学し、所定の授業科目のうち、20単位以上を修得後に学位取得計画書を提出しなければ、提出することができません。

また、上記に加えて、外国語学力確認（1カ国語）に合格しなければなりません。ただし、次のいずれかの方法により、外国語の学力確認を行ったものとして、これを免除します。

- （1）入学試験での受験外国語
- （2）指導教員による研究指導

7 修士論文論題の提出について

- （1）提出期限は厳守すること。提出期限後はいかなる理由があっても受理しません。
- （2）修士論文**論題提出**は指導教員の承認を受けてください。
- （3）既に提出した論文計画の変更は、認められません。ただし、論文提出以前においては、指導教員の承認を得て論題の変更をすることができます。
- （4）論題を提出したが、修士論文を提出しない場合は、指導教員の承認を得てその旨を教務センターへ報告してください。